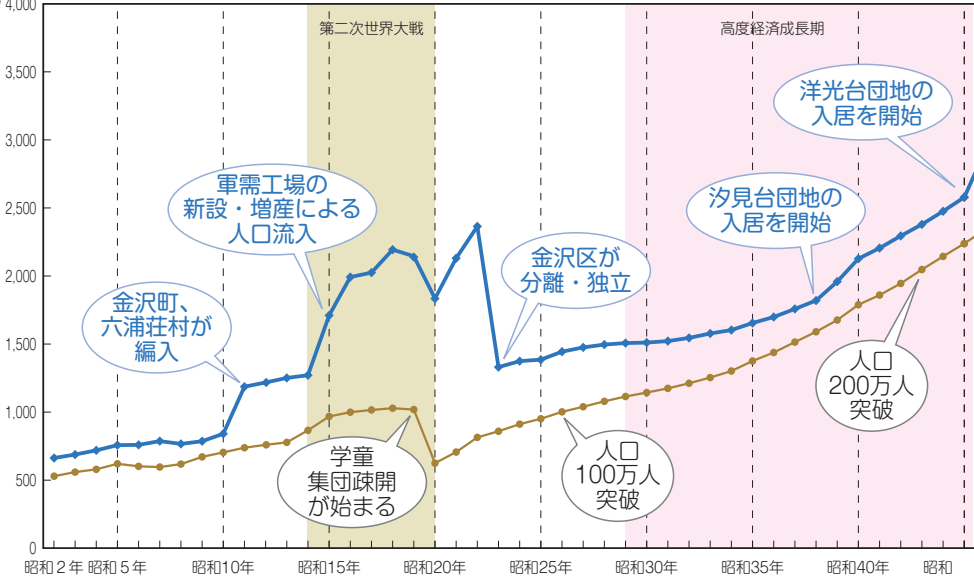


人口

◆横浜市と磯子区の人口の推移

【横浜市】

(千人) 4,000



区制施行により鶴見区・神奈川区・中区・保土ヶ谷区・磯子区が誕生(昭和2年)

ニューヨーク株式会社大暴落、世界恐慌始まる(昭和4年)

港北区・戸塚区が誕生(昭和14年)

横浜大空襲(昭和20年)

西区誕生(昭和19年)

南区誕生(昭和18年)

磯子区の一部が分区し、金沢区が誕生(昭和23年)

磯子区制30周年(昭和32年)

磯子消防署・磯子公会堂新築落成(昭和32年)

テレビ放送開始(昭和28年)

横浜開港100周年(昭和33年)

磯子区制30周年(昭和32年)

磯子区制30周年(昭和32年)

磯子区制30周年(昭和32年)

磯子区制30周年(昭和32年)

磯子区制30周年(昭和32年)

磯子区制30周年(昭和32年)

磯子区制30周年(昭和32年)

磯子区制30周年(昭和32年)

磯子区制30周年(昭和32年)

磯子区制30周年(昭和32年)

磯子区制30周年(昭和32年)

磯子区制30周年(昭和32年)

磯子区制30周年(昭和32年)

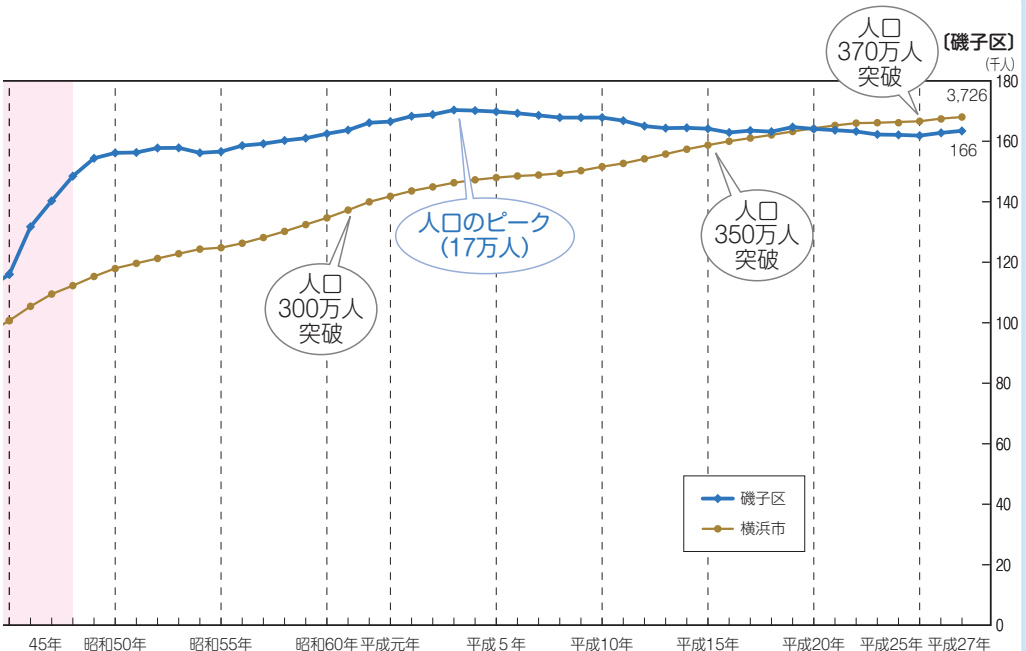
磯子区制30周年(昭和32年)

磯子区制30周年(昭和32年)

磯子区制30周年(昭和32年)

磯子区制30周年(昭和32年)

※昭和2～9年は公簿調査による戸籍人口、昭和10年以降は国勢調査及び推計人口調査によります。ただし、昭和5年は国勢調査、昭和16、23年は常住人口調査、昭和19～21年は人口調査によります。



市民参加型フルマラソン「横浜マラソン2015」初開催(平成27年3月)

区のマスコミキャラクター「いそび」制定(平成23年)

東日本大震災(平成23年3月11日)

横浜開港150周年(平成21年)

磯子区制80周年(平成19年)

みなとみらい線開通(平成16年)

2002 FIFAワールドカップ 韓国・日本開催(平成14年) ↓ 決勝戦は横浜で

磯子区新総合庁舎が完成(平成11年)

横浜国際総合競技場オープン(平成10年)

磯子区制70周年(平成9年)

青葉区・都筑区が誕生(平成6年)

横浜ランドマークタワーオープン(平成5年)

金沢シーサイドライン開通、横浜ベイブリッジ開通(平成元年)

磯子区制60周年(区の木「梅」区の花「コスモス」を制定(昭和62年) 栄区・泉区が誕生(昭和61年)

区のシンボルマークを制定(昭和58年)

横浜スタジアム完成、大通り公園開園(昭和53年)

磯子区制50周年(昭和52年)

JR根岸線が全線開通

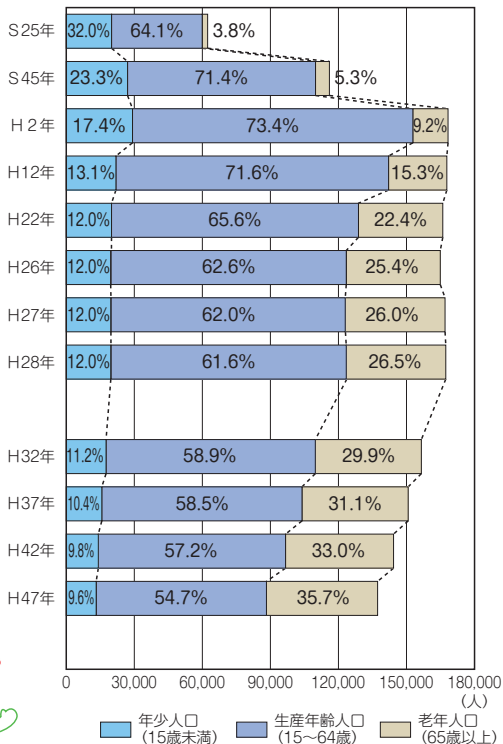
石油危機(洗剤・トイレットペーパー不足が深刻化)(昭和48年)

※各年10月1日現在。ただし、昭和2～4年、6～9年は12月31日現在、昭和18年は12月1日現在、昭和19年は2月22日現在、昭和20年は11月1日現在、昭和21年は4月26日現在、昭和23年は8月1日現在。

◆年齢三区分別人口の推移 ～少子高齢化がさらに進行～

年少人口（15歳未満）の割合は低下傾向で推移し、平成2年には総人口に占める割合が20%を下回りました。平成17年から12%前後で推移していますが、少子化が進行している状況といえます。

一方、老年人口（65歳以上）の割合は、増加傾向で推移し、磯子区では平成22年に総人口に占める割合が20%を超え、その後も増え続けています。平成28年では区民の約3.7人に1人が65歳以上の高齢者となっています。



現在26.5%となっている磯子区の老年人口の割合は、2020年（平成32年）には約30%、2030年（平成42年）には約33%となる見込みだよ。

横浜市将来人口推計

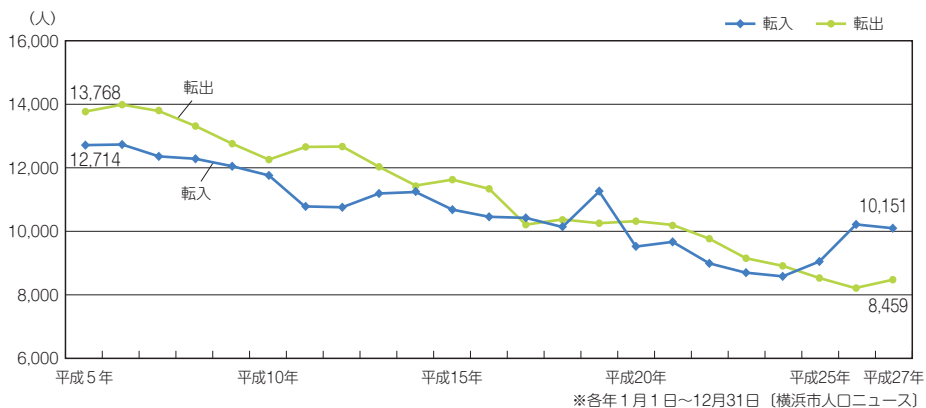
検索



※各年国勢調査、H12以降は登録人口（各年3月31日現在により掲載）

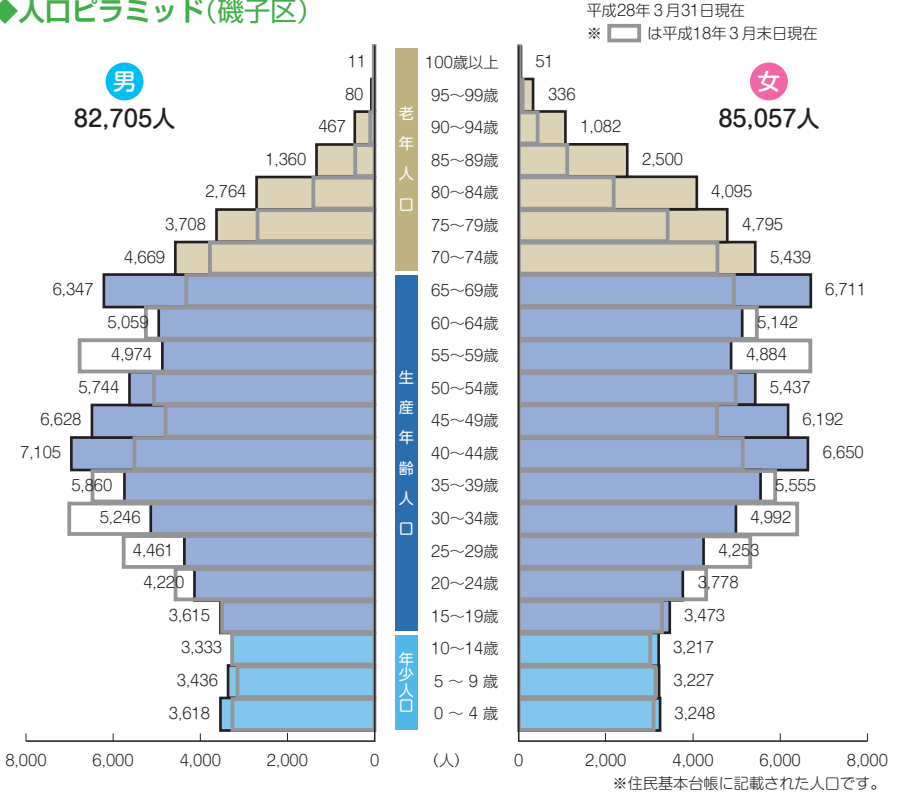
◆人口異動の推移（磯子区）

〈転入・転出の推移〉

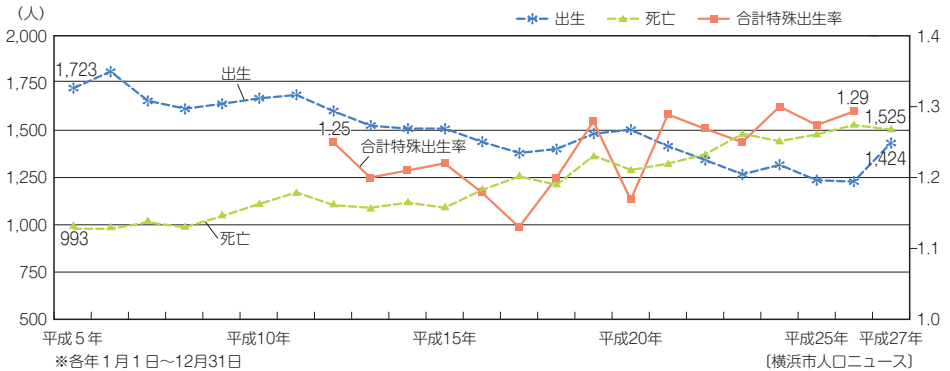


※各年1月1日～12月31日（横浜市人口ニュース）

◆人口ピラミッド(磯子区)

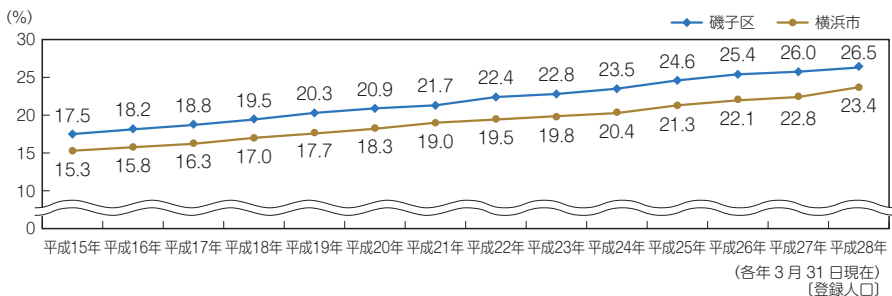


〈出生・死亡の推移〉～出生者数は上昇に転じる～

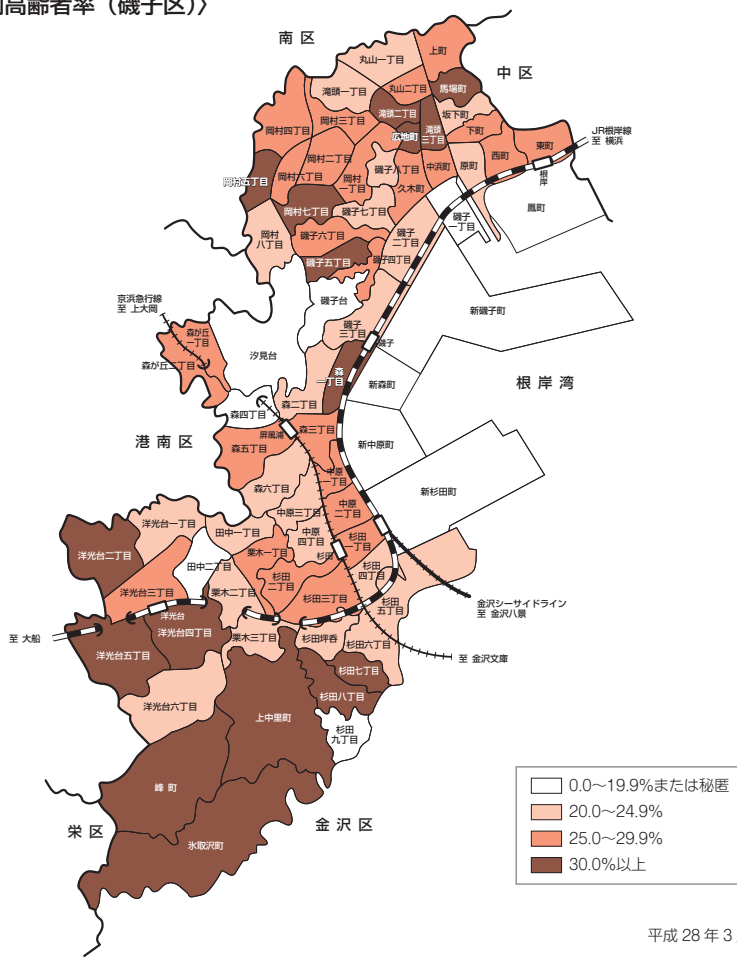


2. 高齢者（65歳以上）

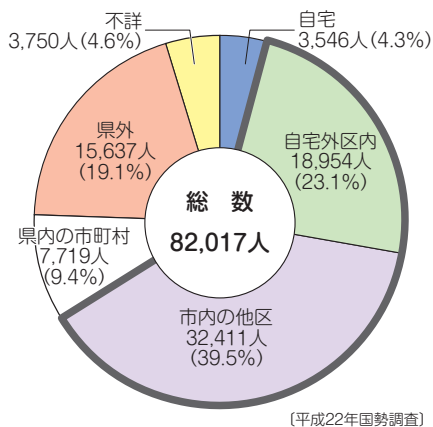
〈高齢化率の推移（横浜市・磯子区）〉



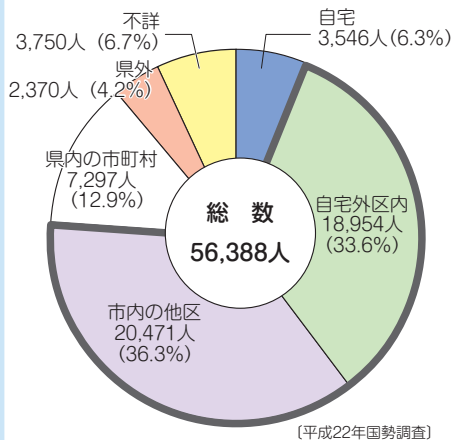
〈町別高齢者率（磯子区）〉



◆磯子区民の通勤・通学先 (15歳以上)



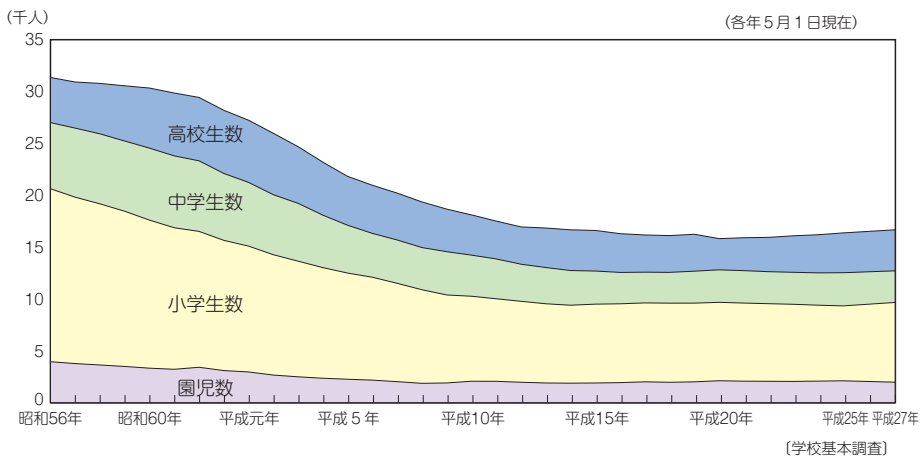
◆磯子区へ通勤・通学する人の住所 (15歳以上)



自宅で働く人を除き、市内で従業・通学する人の割合は、磯子区では62.6%(全市52.5%)で18区中1位だよ。(平成22年10月1日現在)

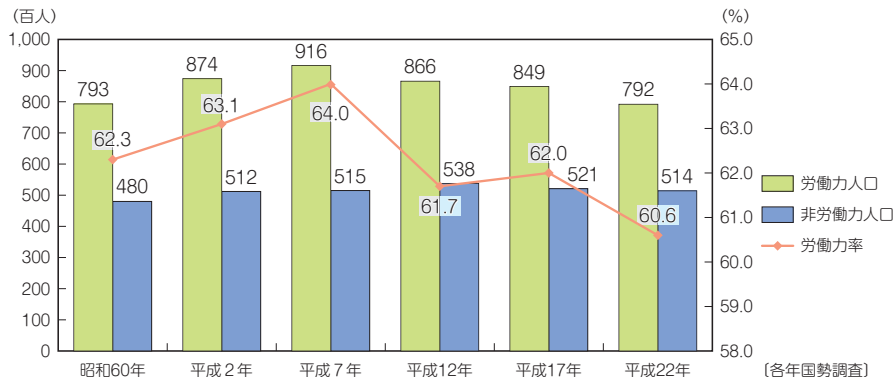
◆園児・児童・生徒数の推移 (磯子)

平成27年は園児2,045人、小学生7,473人、中学生3,233人、高校生3,858人、合計16,609名となっており、ピーク時(昭和56年、合計31,357名)と比べてほぼ半減しており、明らかな少子化傾向が見られます。



◆労働力人口 ～磯子区は大幅に減少～

労働力人口とは、満15歳以上の人口のうち、就業者と完全失業者（就業していないが、就職活動をしている失業者）の合計のことをいいます。磯子区の労働力人口は5年前と比べ6.7%も減少（全市1位）しており、市全体でも戦後初めて減少しました。



◆外国人人口 ～東南アジア諸国が7割超～

平成28年3月31日現在

